



たいよう

子育て通信

平成27年 NO.143

今年の夏は、例年になく猛烈な暑さでしたね。夏の疲れがそろそろ出はじめるころではないでしょうか。健康第一にゆっくり生活のリズムを整えていきましょう。

東加古川子育てプラザ
TEL 423-5517
加古川駅南子育てプラザ
TEL 454-4189

爽やかな秋風とともにステキな季節がやってきます。親子で自然に触れたり、お祭りや運動会など地域の行事に参加したりしましょう。地域の人との関係づくりは、子育てをするうえでとても大切です。

♪子育てをハッピーに♪

『秋の七草』を見つけよう!(^^)!

萩（はぎ）、薄（すすき）、葛（くず）、撫子（なでしこ）、女郎花（おみなえし）、藤袴（ふじばかま）、桔梗（ききょう）。

「秋の七草」は、山上憶良が万葉集の歌で選定し、今に至っています。平荘湖や金沢牧場（志方町）周辺に行くと見つけられますよ。



『お月見だんご』の由来をおしえて!(^^)!

秋にとれたばかりの米から作る粉を使ってお餅にし、丸めた物。

十五夜のお月見に、すすきや果物、さといもなどとお供えをして、その年の豊作に感謝します。

ちなみに、今年の十五夜は、9月27日（日）です。



『子育てプラザのお月見会』にきてね!(^^)!

東加古川子育てプラザ 9月29日（火）11時

加古川駅南子育てプラザ 10月6日（火）11時

ボランティアサークル「なの花」さんによるお楽しみ会です。

みんなで季節の行事を楽しみましょう！

お月見だんごや秋の草花など、昔ながらの手作りの飾りがいっぱい！お土産もありますよ♪

多世代交流イベント 「にこにこサマーフェスタ」開催

8月22日、昨年まで10年間続いた高校生が企画・準備・運営をしてきた「にこにこファミリー運動会」と、子育てサークルのおかあさんたちが企画・運営してきた「七夕フェスティバル」をいっしょにし、多世代が集い交流するイベント「にこにこサマーフェスタ」を今年初めて開催しました。

当日は、高校生・大学生から子育てサークルの親子、子育てのちょっと先輩の子育て支援サークル、シニアボランティアサークルなど約1,800人が参加しました。

高校生の元気あふれるダンスパフォーマンス、手遊びのステージから始まり、その後子どもたちは、手づくりの遊びのコーナー(電車ごっこ、わなげ、魚つりなど)を楽しみました。

高校生は、子どもたちがどうしたら喜んでくれるのかを考えながら、春から準備をしてきました。そして、上手に言葉をかけ、遊びを盛り上げている姿が見られました。その顔は笑顔でいっぱいです。子どものかわいさを実感した瞬間でしょう。参加していた子育て中のおかあさんが声をかけてくれました。「高校生が輝いて見えました。元気をいっぱいもらいました」また、シニアボランティアさんは、「高校生のころや子育て中のころの自分と重ね合わせ、いろいろな思いがこみ上げてきました」と…。この思いがシニアオープンルーム(あそびのひろば)で、親子を温かく優しく包み込んでくれているのだと感じました。

多世代が集い交流することで、子どももお父さんお母さんも、高校生・大学生もシニア世代も、みんながつながり、気づいたり学んだりしながらお互いに「育ち合う」って、とても大切なことだと思います。

みんなで子育て ~たくさんの人の中で子育てしましょう!~

ひとりで子どもと向き合っていると、イライラしたり不安になったりすることがあると思います。同世代はもちろん、様々な世代の人とかかわりながら子育てをしていくと、子育てのヒントや元気をもらい、また気づくことや学ぶことがいっぱいあります。

いろいろなところへ出て行きましょう。もちろん子育てプラザでも様々な多世代交流をしています。ぜひ遊びに来てください。

◇◇◇ 子育て講演会 ◇◇◇
落語家・僧侶 露の団姫(つゆの・まるこ)先生

露の団姫先生は、テレビ番組「ぶっちゃけ寺」に出演されているほか、テレビ・ラジオ・高座・講演会などでご活躍中です。

そして、この度は、夫である豊来家大治朗(ほうらいやだいじろう だいかぐら)さんとお二人で子育てを通してのお話をさせていただきます。きっと皆さんの心に届く笑顔いっぱいの講演会となることでしょう。

たまにはお子さんを預けて、ゆっくりとしたひとときを過ごしませんか。

【と き】平成27年11月18日(水) 10時~11時半

【と ころ】加古川駅南まちづくりセンター 4Fホール

【内 容】露の団姫さん夫妻による子育ての話

【対 象】小学生未満の子どもを持つ保護者

【定 員】120人(先着順) 【参加費】無料

申 問 11月5日(木) 午前9時から加古川駅南子育てプラザ
(☎454-4189)へ

※一時保育があります(6カ月以上 先着80名)



めざせイクメン講座 ☆パパカ(ちから)をつけよう☆
大阪教育大学教育学部准教授 小崎 恭弘先生

3人のお子さんの子育てや豊かなご経験を踏まえて、パパならではの
子育て法をわかりやすく伝授させていただきます。

【と き】平成27年11月1日(日) 10時半~12時

【と ころ】東加古川子育てプラザ

【内 容】講演「パパの子育てが世界を救う！」

【対 象】小学生未満の子どもの父親ともうすぐ父親になる人

【定 員】20人(先着順) 【参加費】無料

申 問 10月16日(金) 午前9時から東加古川子育てプラザ
(☎423-5517)へ

☆これボクのたからもの☆

子育てプラザに遊びに来てくれたママとボクから楽しいお話を聞きました。
「ママとおでかけした時、きれいな石を見つけたよ。丸くてカッコイイかたち。」
「ブブーブブブー」車にへんし〜ん!

ボクが楽しそうに遊んでいるのを見て、ママがマジックで窓を描いてあげた
そうです。ボクはうれしくて夢中で遊んだ後、子育てプラザに
その車を持ってきて見せてくれました。ステキな親子関係ですね。
また、秋のお散歩で小さな幸せを見つけてね。



秋の夜長 おやすみ前の一冊



《小さい子に》

「おつきさま こんばんは」 著者 林 明子 福音館書店
お月さまや、その前を横切る雲とお話をするように
描かれた、赤ちゃんにもわかりやすい絵本。

《大きい子に》

「パパ、お月さまとって！」 著者 エリック・カール 偕成社
娘の、月と遊びたい夢をなんとか実現してやりたいとがんばるパパの、
優しさにあふれた絵本。

《パパとママに》

「あなたが とってもかわいい」 著者 みやにし たつや 金の星社
赤ちゃんの頃はあんなにかわいかったのに、今では・・・なんて気持ち
になったら、ぜひこの絵本を。わが子を愛おしく感じ、心が温まります。
「あなたがとってもかわいい！」と言って、抱きしめてあげてね。

☆両プラザに、「パパとママのためのおすすめ絵本」を置いています。

♡絵本の読み聞かせは、子どもが親の愛情をたっぷり感じていられる楽しい時間です。子どもの心を満たすだけでなく、親も穏やかな気持ちになる作用があるそうです。子どもの時、絵本をたくさん読んでもらった子どもは、いつまでも心に残り、本好きな子どもに育ちます。

おやすみ前の5分間、絵本の読み聞かせを始めてみませんか。親子のコミュニケーションを育むのにオススメです！！

☆きらりing編集室☆

アメリカの乳幼児精神医学の専門家ブルース・ペリーは、臨床に基づいたきわめて実証的な研究から「乳幼児期に泣いて訴えることに対し、何千回も繰り返して応えてもらう経験が、その子が大きくなったとき人間関係に喜びを見いだす力になる」と言っています。泣いて訴え、それに応えてもらうことのなかで、人との交わりに喜びを感じる感情の基盤をつくっていくのだそうです。

～どうか忘れないでください、子どものことを～佐々木正美著より

当プラザでも、泣いている子を見かけると、周りの子どもが心配そうに近づき、大人も優しく声を掛けてくれています。ホッとしたかのように泣き止む子ども。小さくても自分に向けてくれた優しさを十分感じ取っているようです。周りの子どもにも、温かい目を向けてくださって嬉しいです。